

2026年3月3日 (火)

参加費無料
オンライン開催 14:00-16:30

お申込みはこちら↓ (2/28まで)

<https://forms.gle/1w2oaHQYk2M58X467>



第26回オープンセミナー 心と身体を育む 自然遊び場

～動物の行動から学ぶ
これからの子どもの遊び体験～

公園の価値を創造するには？ 公園の魅力を高める手法とは？

少子高齢化や多様化するニーズの中で、「地域のウェルビーイング拠点」として公園にその役割を果たすことが求められています。

動物にも見られるさまざまな行動や野山で遊ぶような感覚を体験することで、子ども自身が新たな遊びを見出し、身体能力だけでなく、情緒の涵養や自然への関心を育むことが可能になります。

子どもの意識にもはたらきかける遊び場の事例に焦点を当て、自然遊びの視点を取り込むことで公園の魅力を高めていく手法を学び、公園での取組みの可能性について考えます。

主催
一般社団法人パークマネジメント協会

基調講演

若生 謙二

大阪芸術大学 教授
日本展示学会会長・動物園ランドスケープ会議代表

パネリスト

嶽 篤史

学校法人聖母女学院
香里ヌヴェール学院小学校 教頭

若宮 幹夫

株式会社ジャクエツ
パブリックスペース営業部 課長

モデレーター

京極 正国

北部緑地株式会社 代表取締役

問合せ先

セミナー事務局
seminar@parkmanagement.jp



講演者プロフィール



若生 謙二

大阪芸術大学 教授

日本展示学会会長 動物園ランドスケープ会議代表

東京大学農学博士。公園のランドスケープの起源であるイギリス風景式庭園の形成過程を探るとともに、動物園デザイナーとして全国の動物園で生息環境展示の実現にとりくみ、近年では子どもの自然遊び場づくりにも力を注ぐ。ヒトと動物の関係学会会長・日本造園学会常務理事・関西支部長を歴任。1998年天王寺動物園の再整備計画で日本造園学会賞受賞。2009年横浜動物園ズーラシア「チンパンジーの森」の設計で公園緑地協会賞受賞。2011年「動物園革命」（岩波書店）で日本造園学特別賞受賞。2015年、2016年宇部市ときわ動物園「アジアの森林ゾーン」、「中南米の水辺」ゾーンの施工で国土交通省都市交通局長賞受賞。2022年上野動物園「パンダの森」の設計で日本造園学会賞受賞、2024年日本造園学会上原敬二賞受賞。



嶽 篤史

学校法人聖母女学院 香里ヌヴェール学院小学校 教頭

大阪府寝屋川市に位置する同校では若生教授による「自然遊び場」が高学年用と低学年用に2カ所設置されており、小学校教育の場として活用されている。



若宮 幹夫

株式会社ジャクエツ パブリックスペース営業部 課長

和歌山県紀の川市にある紀の川市民公園「野あそびの丘」の建設に関わり若生教授の指導の下で遊具や地面の凹凸を活用した「自然遊び場」を産み出した。

京極 正国

北部緑地株式会社 代表取締役

様々な公園建設に従事してきた経験を元に、新しい技術の開発や公園などのパブリックスペースの新たな活用方法を模索中。



モデレーター

一般社団法人パークマネジメント協会 (Japan Association of Park Management)

都市公園の運営を指定管理者制度等によって行おうとする事業者が、公園管理運営（パークマネジメント）方法について共同して研究するために、2005年4月に「パークマネジメント研究会」として発足しました。2013年6月に一般社団法人として法人化し、公園や緑地の活用に関する知識・技能の習得や、協働等に関する支援活動及び、パークマネジメントに携わる会員相互の研鑽と交流を通じて、広く社会に貢献することを目的としており、公園をこれまで以上に活用するために様々なアイデアを検討します。

<https://www.parkmanagement.jp/>

